

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスかりゆーし		公表日		2025年 3月 10日	
			対象者		2025年2月1日現在 23名 回答者数 15名 回答率 65%	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点と課題や改善すべき点	課題を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に公園など外へ連れ出そうとしている。 パーティションや、必要に応じて2Fも利用している。 ワンルームのみのため利用者さんが落ち着かない状態の時にカームダウンする場所がない。 年代別で活動できる空間確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ワンルームのみのため利用者さんが落ち着かない状態の時にカームダウンする場所がないので、2階の部屋を整備して活用していきます。 学年や利用者の特性別に部屋や支援を分けるために、活動部屋をパーティションで区切るなどの構造化をすすめていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80.00%	20%	<ul style="list-style-type: none"> マンツーマンでなければならない子が多いときはスタッフが少ないと思うこともある。 外出時の対応などが事前に打ち合わせがあるとより安心できる。非常勤のみで公園に向かう事もあるので、事前に動きの指示があれば安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> マンツーマンでなければならない子が多いときはスタッフが少ないと思うこともあるので、その時には活動場所や内容を工夫して安全に支援できる配置をしていきます。 外出時の対応など、事前に打ち合わせを行っていきます。非常勤のみで公園に向かう事もあるので、事前に動きの確認をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	66.70%	33.30%	<ul style="list-style-type: none"> 物の収納場所が、子どもが分かるように書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ、計画的に整備していく予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	80.00%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 決められた場所の清掃は行っている あたたかく明るく、いい環境だと思う。 食事やおやつの際、テーブルをしっかり消毒してから食事することをスタッフも利用者も意識してやっている所 活動スペースのエリアが決められてないため分かりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースのエリアを決めて心地よく過ごせるスペースを作っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	66.70%	33.30%	<ul style="list-style-type: none"> 必要な児童には使ってもらっている。 パーティションの利用や、2Fの利用。 ごちゃごちゃしていてわかりづらいと思うことがある。 構造化は進んでいるがまだ足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> 2階の物置を整備して個別課題をする部屋、カームダウンの部屋や静養室の環境整備をしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	66.70%	33%	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議、日々の打ち合わせがある。 LINEでいつでも連絡が取れるようになっていたため、不明点などがあれば確認しやすい。 出勤の少ない職員は参加出来ていない。 退勤時間によっては終業ミーティングがないので、自分で気付けない部分での改善点を見つけにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤非常勤に関わらず、打ち合わせ振り返りの時間不足などところがあるので、活動終了後には業務日報に記載しておくことで、その内容について当日、翌日に話し合いを行っていくようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86.70%	13.30%	<ul style="list-style-type: none"> 意見、要望を認識し改善を心がけている 保護者の意向は良く聞いていると思う。 スタッフ会議で報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議にて共有と改善策について話し合いの場を設けました。業務改善に向けて今後取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	93.30%	6.70%	<ul style="list-style-type: none"> 施設会議で意見を発表し検討している。 非常勤も参加できるミーティングを行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務日報を活用して当日、または翌日に話し合う機会を設けていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	53.30%	46.70%		<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価は行っていません。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 希望者は自分の望む研修を受けている。 すべてに参加できてはいないが、機会は作られている。 会議等でウイルス対策等を詳しく説明した回はとても勉強になりました。 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	93.30%	6.70%	<ul style="list-style-type: none"> 事前に話し合いプログラムを実行。保護者へ写真と文章で報告している。 個別支援計画はいつでも確認できるようになっている。 プログラムの内容について、個別に応じた支援が出来てないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの内容について、個別に応じた支援を行えるように、プログラム担当者は一人一人の支援計画に基づいた活動内容に考慮していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	93.30%	6.70%	<ul style="list-style-type: none"> 限りある時間で何ができるか、相談して決めている。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	86.70%	13.30%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの変化に応じて報告、隙間時間に話し合いを行っている。 個別支援計画の更新のタイミングで、非常勤の意見も入れながら会議を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務日出席の職員の確認にとどまらず、全員で確認をする日を設定します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	86.70%	13.30%	<ul style="list-style-type: none"> 常勤の方から情報共有がされている。 	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	73.30%	26.70%	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや、タイマーなどで可視化したり、自分の荷物のところには自分の写真を貼るなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けだけでなく現場でのアセスメントツール、項目を検討中です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 児童館に遊びに行くことがある。 放課後等デイサービスガイドラインを読む機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインは従業者がいつでも確認できるよう、事務室の棚に置いてあります。また、年に一度はスタッフ会議にて読み合わせを行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 隙間時間に相談、検討している。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 色んなスタッフが担当するようになっている。 	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	93.30%	6.70%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性にあった課題や活動を行っている。 集団の場面では、個別に対応が必要な子にはその子のニーズに合わせた対応を優先できるようになっている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	73.30%	26.70%	<ul style="list-style-type: none"> 時間差で出勤のためノートでの伝達を復活させた。 時間が取れない。 土曜や長期休暇の時は、始業時間がバラバラの場合すぐ現場に入る形になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜や長期休暇の時は、始業時間がバラバラの場合すぐ現場に入る形になっているので、事前に1日の流れの役割分担をお知らせするようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40.00%	<ul style="list-style-type: none"> すれ違いなので、いる職員だけで行っている。 児童の帰宅送り等で職員の退室時間が異なるため打ち合わせ時間の確保が難しい。したがって、活動日報に気づいた点の共有を行っている。 連絡帳の入力で、気付いた点は残せるようになっている。 送迎で遅くなるため、また勤務時間のズレで 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎のタイミングで出勤退勤の非常勤も多いので、その日難しかったことなどの悩みや良かったことなどを共有するタイミングがあまりない現状です。活動日報を活用してその日の情報共有をしていきますが、話し合いが必要な事例については話し合う場を設けていきたいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	93.30%	6.70%	<ul style="list-style-type: none"> HUGに書き込むようにしている。 記録に残している。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	96.30%	6.70%		<ul style="list-style-type: none"> 保護者へのモニタリングは半年に1回は行っています。その他必要があれば随時面談をさせていただいています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	86.70%	13.30%	<ul style="list-style-type: none"> 目的を持ってプログラムを行っている。 	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	93.30%	6.70%	<ul style="list-style-type: none"> 声かけや写真カードで選べるようにしている。 おやつは交換ができる、公園は行きたければ 	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	93.30%	6.70%	・相談の上決めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.70%	33.30%	・学校とは送迎時に先生と話をすることが多い。 ・あまり機会がない。	・直接、医療機関とはできていないが、療育医院などのOTやST見学をさせてもらっています。 ・学校さんとは学校引き渡し時に情報共有をしたり、必要に応じてケース会議を行っています。 ・子ども家庭支援センター、児童相談所とも連携しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	93.30%	6.70%	・予定は保護者を通じて行っている。トラブルについては出来るだけ担任の先生と話をしている。 ・学校終了後、先生と一緒にいる場合は1日の様子を確認することができる。 ・予定については学校側からの情報提供が少なく、遅い。	・予定については学校側からの情報提供が少ないため、保護者様からご協力いただいています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60%	40.00%	・保護者様からの聞き取りによって必要な場合は情報共有をしたいと思っている。	・見学等、今後連携をすすめていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	86.70%	13.30%	・相談支援事業所を通じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	・教育関係者の講演などがある時は、全体にアナウンスをしてくれる。	・今後、計画していく予定です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33.30%	66.70%	・近隣の児童館、公園等へ出かけることはしている。	・近隣の児童館や図書館、公園や買い物、ごみ拾いなど、地域と関わる機会を日々の活動の中で行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	66.70%	33.30%	・代表者が出席し、必要な情報は共有している。	児童部会へ定期的に参加しています。放デイ連絡会にも常勤、非常勤関係なく参加できる方は積極的にご参加をお願いしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	86.70%	13.30%	・ライン、HUG、送迎時などに行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	73.30%	26.70%	・保護者交流会を行い専門家からアドバイスを受けた。 ・多くの保護者様が出席出来る日の設定が難しい。 ・機会を増やしたい。	・多くの保護者様が出席出来る日の設定が難しいですが、研修の機会を増やしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	73.30%	26.70%	・書面で面談時や送迎時に、ラインでお知らせしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	80%	20%	・面談時に聞き取り調査をしている。 ・全体で国が定めているガイドラインの確認を行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	93.30%	6.70%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	93.30%	6.70%	・相談を受けたときには個別に必要な助言、また他の資源の紹介を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	73.30%	26.70%		・年に一度は保護者会を開催させていただいておりますが、ご要望があれば回数を増やしていきたいと思います。また、きょうだい同士での交流についても保護者様のご要望がありましたら、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・個別に迅速に誠意をもって対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・HUGで情報発信をしている。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・研修を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・カード、写真、ジェスチャーで行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	53.30%	46.70%	・社会福祉協議会との連携でボランティアさんに来てもらった。 ・社会福祉協議会の人を招いたこと。	・今後取り組みを計画する立案をたてています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	93.30%	6.70%	・定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	93.30%	6.70%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・保護者にアセスメントシートに記入してもらい、面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	93.30%	6.70%	・キッチンに張り紙がある。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	93.30%	6.70%	・ヘルメットの着用の練習、避難訓練をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86.70%	13.30%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・会議で報告している。 ・会議で確認ができるようになっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・グループワーク形式で行っている。 ・強度行動障害支援者養成研修を受講。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・あまり詳しい部分は分からない。		